

ベタニヤホームだより



社会福祉法人 ベタニヤホーム
〒130-0022 東京都墨田区江東橋5-4-1
電話 03 (3631) 0 4 4 4
FAX 03 (6659) 6 6 7 2
発行責任者 網 春 子

2021年冬号 第136号

社会福祉法人ベタニヤホーム

2020年度クリスマス礼拝

「イクスペクティング・マザー」

—ルカによる福音書

第2章1節〜7節—

日本福音ルーテル教会 牧師

北尾 一郎

(社会福祉法人ベタニヤホーム評議員)



(はじめに)

ベタニヤホームの役職員の皆さまお一人おひとりに心からクリスマスのご挨拶を申し上げます。穏やかなクリスマスと幸いな新年を。

電車の「優先席」について乗客の協力を求めるアナウンスの文章の中に、数年前までですが、たしか「妊娠中の方」という言葉がありました。英語のアナウンスの中では「イクスペクティング・マ

ザー」(expecting mother)となっていました。

日本語に直せば、「出産予定の方」ということとなります。しかし、「イクスペクティング」という言葉には「期待している」「待ち望んでいる」という意味が含まれています。

「イクスペクティング・マザー」いい言葉だなあ、と私は思いました。「早くこの子に会いたい」「この子のためなら私は何でもするわ」というような母の思いが伝わってきます。



1 クリスマスの「母」

ところで、人間の世界には、いつの時代にも残酷なことが起こります。今年も例えば、エチオピアの少数民族の人々が政府軍の攻撃を受けて幾万人もスーダンへ逃げている、というニュースがありました。その難民の中には、イクスペクティング・マザーもいるということです。

2020年前もそうでした。ローマ帝国の市民でもないユダヤ人まで、住民登録のため出身地での登録を強制されたのです。

ナザレからベツレヘムまでの長旅、臨月のマリヤにとつてどんなにつらかったことでしょう。そして、ついに旅先での出産。牛やロバのエサ箱がクリスマススの赤ちゃんの子のベビーベッドでありました。



2 今年のクリスマス

2020年のクリスマスー「飼葉桶」は「コロナまみれ」です。でも、イエスさまは生まれます。悩み悲しむ人々の間に慰めと平和の君が来られます。せめて、今そこにおられるあなたのお心に御子を寝かせる「飼葉桶」を用意してください。たとえ、それがあられすりの箱であっても、消毒してなくてもいいのです。そのままのあなたのごころに寝かせてください。



3 あなたもイクスプレクティング・マザー

降誕劇で赤ちゃんを抱っこする子どもたちと共に、ベタニヤホームの先生方は皆さん「イクスプレクティング・マザー」です。あなたが子どもたちを抱き上げるとき、そうです、あなたは、あなたのためにお生まれになったイエスさまを抱いているのです。

(おわり)

そのとき、赤ちゃんイエスさまの方が、あなたを抱き返してください。あなたの存在は神さまの目に限りなく尊いのだ、と言ってイエスさまがあなたを抱き締めてくださいます。

それで、私たちは困難に直面しているときでも、私たちに神さまから託されている子どもたちを抱き締める力をいただくのであります。アーメン。

役員員の皆さま、
ハッピー・クリスマス！



毎年、法人を通じての献金にご理解、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

例年、継続して支援を行っている「特定非営利活動法人チャイルド・ファンド・ジャパン」のほか、今年度は「ほしくずの会」と「一般社団法人わかちあいプロジェクト」の3団体へ皆様からの心のもったご厚志をお贈りさせていただきました。今後とも、皆様の温かなご支援をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

❄️ ❄️ ❄️ ❄️

ご協力ありがとうございました

〜2020年度クリスマス献金〜

❄️ ❄️ ❄️ ❄️

○ほしくずの会

「ほしくずの会」は、ルーテル教会関係者とその支援者によって1992年12月に生まれ、山谷地区で毎週火曜日の夜に必要とする人々におにぎりを配る活動を開始しました。その後、1994年6月に「デイケアルーム」として1991年から日雇い労働者や路上生活者の集まる山谷地区で支援を行っていた「ほしのいえ」の活動の一部を支えることになり、今日まで活動が引き継がれてきました。

現在、「ほしのいえ」(荒川区)と徳田カトリック教会(練馬区)でルーテル教会からの人々や他の参加者とおにぎりとお味噌汁づくりを行っています。

○一般社団法人わかちあいプロジェクト

代表の松木傑氏(日本福音ルーテル聖パウロ教会)

元牧師)がドイツのフェアトレード組織「GEP A (第三世界との協力促進協会)」を通して、スリランカのオーガニックティーと出会ったことがきっかけとなり、開発途上国の産品を購入することでその国の人々を知り、支援するフェアトレードを目的とする「わかちあいプロジェクト」が、1992年8月に立ち上がりました。

同年11月、ソマリア難民救援のための募金を開始し、現地協力団体のルーテル世界連盟・奉仕部(LWF)に協力する形で救援物資の空輸活動に参加して以来、広く市民に開かれた団体として、21世紀の貧困問題と環境問題の解決を目指し、フェアトレード、難民支援、自立支援の3つの分野で開発途上国の人々を支えています。

○特定非営利活動法人チャイルド・ファンド・ジャパン (Child Fund Japan)

社会福祉法人ベタニヤホームは、長年にわたり「チャイルド・ファンド・ジャパン」が行うスポンサーシップ・プログラムに賛同して経済的支援を続



けています。

このプログラムは、フィリピン、ネパール、スリランカで実施されていて、教育や保健・栄養、自己啓発など、子ども一人ひとりに必要な支援を提供し、健全な成長を支えています。教育が貧困から抜け出す唯一の道となる子どもも少なくない中、教育を長期的に支えることによって、子どもたちの人生を大きく、明るく変えます。

現在は、ネパールの男の子2人とフィリピンの女の子1人の支援を行っています。

この子たち3人をはじめ、同プログラムによって多くの生徒の出席率や成績の向上が図られ、教師がより効果的な授業を行えるよう研鑽を積むことができているという報告をいただいています。

<各拠点献金額>

母子生活支援施設ベタニヤホーム	10,500 円
菊川保育園	164,132 円
富士見保育園	140,986 円
こひつじ保育園	141,660 円
法人本部	6,000 円
合 計	463,278 円

<贈呈先送金額>

チャイルド・ファンド・ジャパン	144,000 円
ほしくずの会	159,639 円
わかちあいプロジェクト	159,639 円
合 計	463,278 円

かわいいエピソード



お休みの日に某テーマパークに行った1歳児クラスのお友だちAちゃん。キャラクターショーが中止になったようなのですが・・・。

「○○(キャラクター名)さん、出て来なかったの。『さむい、さむい』って言うておうちに入っちゃったの。あったかくなったら、『きもちいい』って出て来るよ」とのこと。

コロナ禍でも前向きな子どもの言葉に心温まる場面でした。

菊川保育園

母子生活支援施設ベタニヤホーム

●幼児遠足●

猿江恩賜公園へ遠足に行きました。おもいっきり走ったり、高い所もスイスイとのぼっていき、「みてー！みてー！」と楽しそうに職員を呼ぶ声が聞こえました。帰り道では、まだまだ遊びたいという声も聞かれ、子どもの体力は無限にあると感じました。この遠足で、子どもたちのさらなる成長が見られ、なかなか歩きたがらないお友だちに「一緒に行くよ」と手をさしのべる姿に、お友だちに対する優しさも見る事ができました。



●母子ハイク●

母子ハイクを行いました。例年はバスを貸切り、遠出をしていたのですが、今年は新型コロナウイルスの感染防止のためにバスで遠出ができませんでした。

そこで、ベタニヤホームの避難場所である猿江恩賜公園で、防災に関係したクイズなどのスタンブラリーを世帯ごとにして、昼食にはベタニヤホーム特製のハンバーガーセットをお渡ししました。ハンバーガーは地域のパン屋さん、お肉屋さんで購入しましたが、お店には並んでいない特別な食材を用意してくれました。法人理念の「地域との連携」を、行事を通じても進めます。



菊川保育園

●秋祭り●

今年はいままで毎年行ってきた八口ウイン仮装パーティーと感謝祭と一緒に楽しめるよう、盛り上がった「夏祭り」に引き続いて「秋祭り」として行いました。3・4・5歳児の3人組活動は今年初めてです。数日前、緊張しながら顔を合わせ、「保育園の兄弟姉妹」として、嬉しそうに仲間を受け入れた子どもたち。仮装をして、ダンスやゲーム、クイズ等、園舎の各コーナーを回り楽しみました。可愛いお化けの3人組で、旬の食べ物や物の立体パズルを相談しながら組み立てたり、お寿司のネタになる魚の釣りゲーム等を通して、普段から食べている食材の元の姿を知り、食材への興味や関心を持って過ごしている様子がありました。

コロナウイルスの影響で調理体験が出来ない中での今回の取り組みでしたが、これまでと違った視点から食材について考え、周りの人や友だちとの繋がり、温かさを感じることの出来る体験が出来たと感じています。命を頂いている事や作ってくれる人がいる事、神様からの恵みである事を忘れないように生活し、子どもたちと共に祈りを捧げていきたいです。



富士見保育園

●手作りの献金箱

今年も楽しみなクリスマスの季節がやってきました。子どもたちは、クリスマスの讃美歌を歌いながらアドベント礼拝を守り、お部屋の中も手作りのクリスマス装飾で飾っていきます。

クリスマスの雰囲気がいっぱいになってくると、いよいよイエス様の誕生日が近づいてきたことを感じ、クリスマス礼拝に向けて降誕劇やキャンドルサービスの練習にも力が入ってきます。皆それぞれに役割を感じ、堂々と舞台上がれるようにと頑張っています。

クリスマス礼拝では、子どもたちが手作りした献金箱に、お家でお手伝いするなど、できることをして、神様の御用の為に献金します。今年もとても可愛らしい献金箱が出来上がりました。子どもたちの心がもった献金箱の献金が、神様の御用の役に立ち、今年も、そしてこの先も幸せなクリスマスが迎えられるよう祈っています。



「4歳児はツリーの献金箱」



「5歳児は靴下の献金箱」

こひつじ保育園

●りんごごみのようす

一時保育は専用の部屋がありません。保護者のリフレッシュや仕事、用事、集団に慣れさせたいなど様々な理由で利用していただいています。

利用している子どもたちは保育園ならではの絵具遊び(手形、色水、野菜や廃材を使ったスタンプ、色水、色など)、感触遊び(寒天、氷、泡など)が大好きで月ごとに種類を提供しています。初めての利用で緊張していた子どもたちも帰りに「楽しかったからまた来たい!」と保護者にお願ひしてくれたり、「今日は絵具してから公園に行く!」などリクエストがあったりと楽しみに来てくれるのが嬉しいです。乳児の子どもたちは保護者との別れが悲しくて泣く姿もありますが利用を重ねるごとに慣れてきてかわいい笑顔を見せてくれるのも嬉しい瞬間です。

現代社会は周りに頼れる環境が少ない方が多いと思います。人は本能的に「誰かと子育てしたい」と感じるように刷り込まれているそうです。地域の方々の子育てに少しでもなれるよう、頼られる保育園でありたいです。



「私もミルクあげたいな♪」



「手形アートでクリスマスツリー製作★」

法人本部からのご報告

◇理事会開催報告

令和2年10月27日に、令和2年度第3回理事会を開催し、次の各議案すべて承認されました。

- 議案第15号 令和2年度母子生活支援施設ベタニヤホーム拠点区分資金収支補正予算(補正第1号)
- 議案第16号 令和2年度富士見保育園拠点区分資金収支補正予算(補正第1号)
- 議案第17号 令和2年度こひつじ保育園拠点区分資金収支補正予算(補正第1号)
- 議案第18号 社会福祉法人ベタニヤホーム定款の変更について
- 議案第19号 社会福祉法人ベタニヤホーム就業規程の一部改正について
- 議案第20号 社会福祉法人ベタニヤホーム印章取扱規程の一部改正について
- 議案第21号 令和2年度第2回評議員会の招集について

◇評議員会開催報告

令和2年11月5日に、令和2年度第2回評議員会を開催し、次の各議案すべて承認されました。

- 議案第4号 令和2年度母子生活支援施設ベタニヤホーム拠点区分資金収支補正予算(補正第1号)
- 議案第5号 令和2年度富士見保育園拠点区分資金収支補正予算(補正第1号)
- 議案第6号 令和2年度こひつじ保育園拠点区分資金収支補正予算(補正第1号)
- 議案第7号 社会福祉法人ベタニヤホーム定款の変更について
- 議案第8号 社会福祉法人ベタニヤホーム役員等報酬規程の一部改正について

◇令和2年度赤い羽根共同募金にご協力いただきありがとうございました

今秋も、法人内各施設において毎年恒例の赤い羽根共同募金運動を行い、多くの皆様から温かなご厚志をお寄せいただきました。

いただいたご厚志は、令和2年11月17日付で社会福祉法人東京都共同募金会あてにお贈りさせていただきました。ご協力をいただきました皆様に心よりお礼申し上げます。

母子生活支援施設	3,252円
菊川保育園	17,133円
富士見保育園	8,626円
こひつじ保育園	8,853円
法人本部	2,136円
合計	40,000円

ご協力ありがとうございました

〈令和2年10月〜令和2年12月まで〉(敬称略)

●ご寄附

〈母子生活支援施設〉セカンドハーベスト(食品)、藤田(ハロウインタオル)、ドイツ銀行(緊急室備品一式)、ライツオンチルドレン(災害食・トイレットペーパー)、ビバリーグレンラボトリース株式会社(化粧水)、公益財団法人昭和池田記念財団(座卓テーブル)、アサヒグループ食品株式会社(手指消毒液)、日本福音ルーテル聖パウロ教会(子ども祝福式プレゼント)、星くすの会(チョコレート)

〈菊川保育園〉亀太商店(稲穂)、卒園児保護者(紙)、卒園児保護者(ハインダー・バギー)、石田洋子(文房具)、佐々木順子(クリスマスリース)、卒園児保護者(アレンジメントフラワー)、峯田みどり(絵本)、江5クラブ(タオル)、地域の方(コナツツサブレ)、卒園児保護者(カレンダー)、在園児祖父(バギー)

〈こひつじ保育園〉亀太商店(稲穂)、亀齢会(タオル)

〈法人本部〉綱 春子、日本福音ルーテル東京教会

●ボランティア

〈母子生活支援施設〉学習ボランティア

〈菊川保育園〉太田和子(カウン・テーブル作成他)

編集後記

昨年は、新型コロナウイルスの感染対策により、様々な行事が形を変えて行われたことと思います。例年と違うことに戸惑いながらも、子どもたちの姿に励まされながら、各園工夫を凝らし、子どもたちと共に楽しんで取り組むことが出来ました。これからもまだ大変な日々が続くかと思いますが、子どもたちと共に過ごせることに感謝して、一日一日を大切に過ごしていきたいと思っております。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

